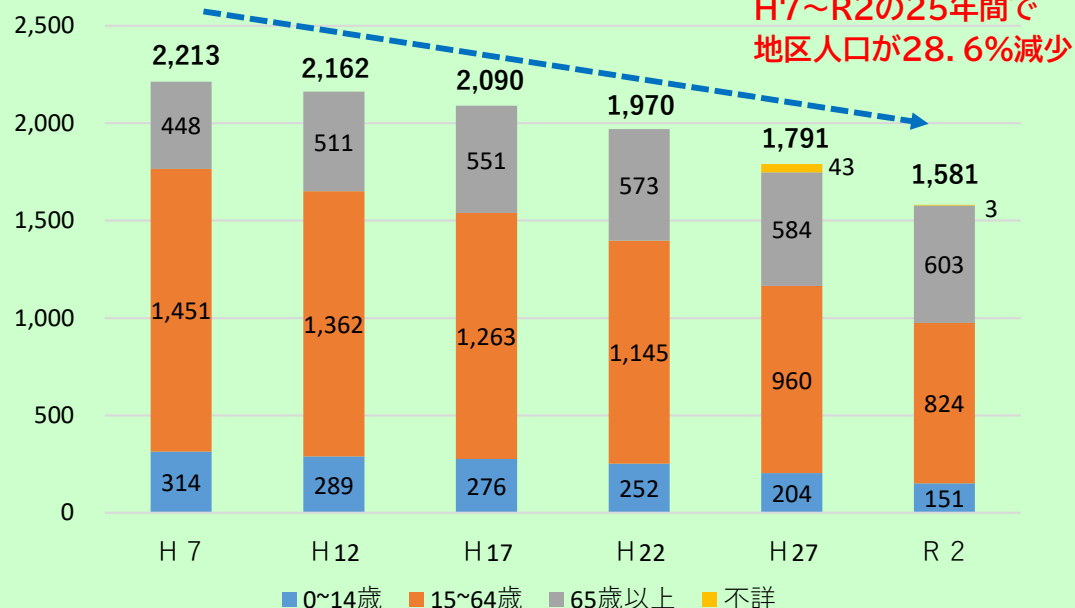




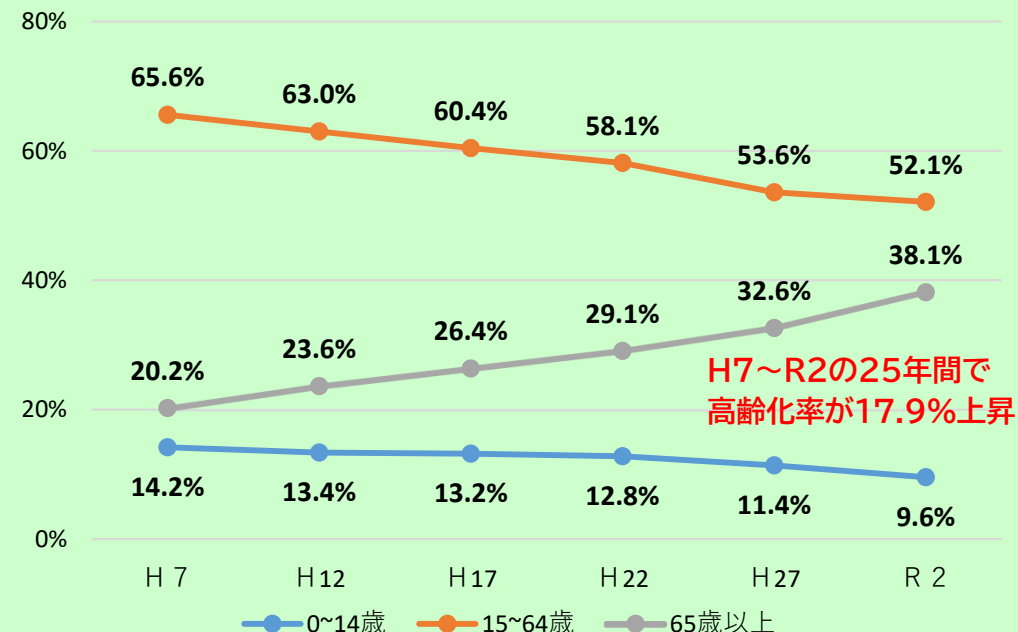
- ・ 人口：1,581名 農地面積：465ha
- ・ 立山連峰の麓に広がる田園地帯（特別豪雪地帯）
- ・ 富山市中心部から約30分

地域の現状と課題

釜ヶ渚地区 年齢3区分人口推移（人）



釜ヶ渚地区 年齢3区分人口推移（比率）



①人口減少・少子高齢化

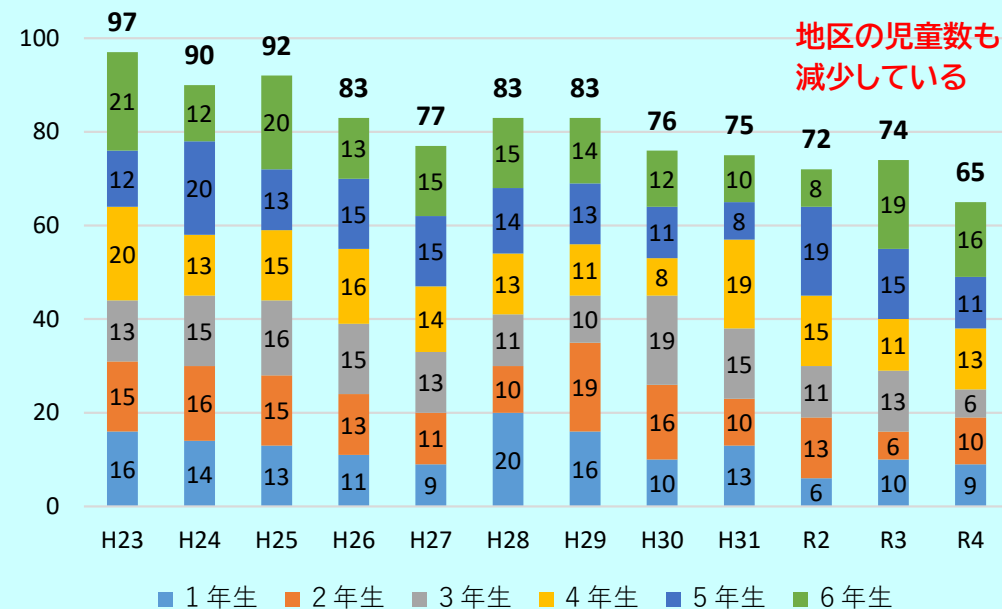
園児数の減少と保育所の老朽化・非耐震により
釜ヶ渚保育所が閉所（平成31年3月末）

釜ヶ渚小学校についても、児童数の減少により
学校統合の答申が出された。
（小学校適正配置検討審議会：平成31年3月）



【地区の小学校は無くしてはならないとの思い】

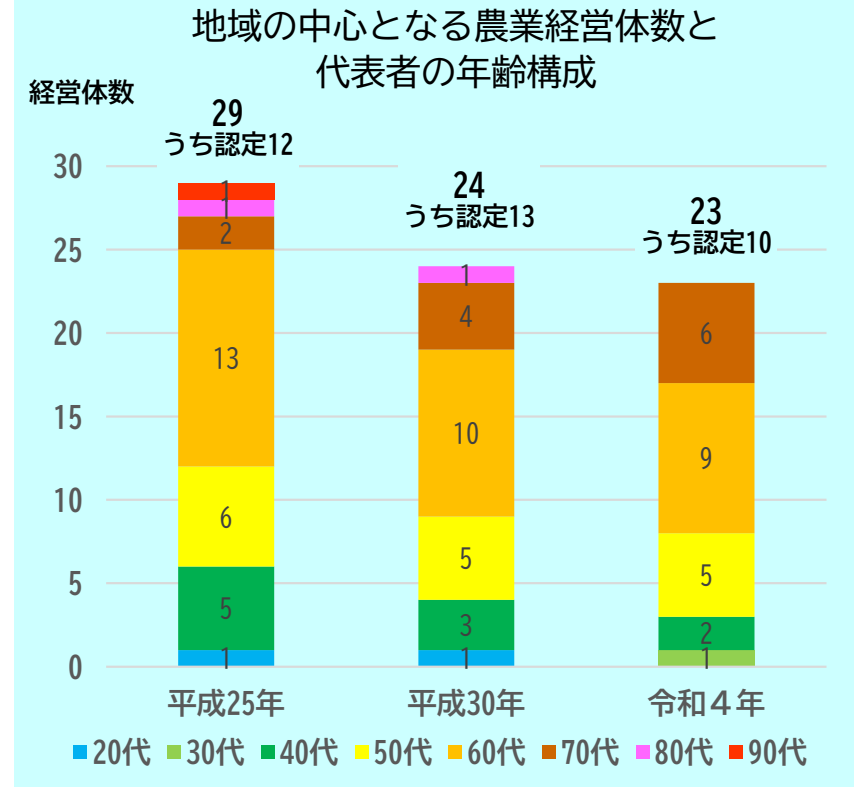
釜ヶ渚小学校 児童数推移（人）



地域の現状と課題

釜ヶ渚地区内の農地面積（農業振興地域）

農地面積	465ha	農用地区域	397.7ha	（基盤整備済み）
		農用地区域外	67.3ha	（狭小・不整形）
作付面積	400ha	食用米（コシヒカリ等）	65%	
		飼料用作物（飼料用米、WCS等）	15%	
		転作作物（大豆・大麦など）	20%	
		野菜類は、ほぼ家庭菜園のみ	—	



②農業者の減少・高齢化

農家の高齢化、後継者がいない（兼業農家・家族経営が多い、子世代はサラリーマン等）

「農事組合法人 清流立山」（地区で唯一の法人営農組織、約50haを経営管理）

→構成員の多くが高齢者でこれ以上引き受けできない。

主要道路と鉄道線路との間に不整形な農地が残り、耕作放棄地が増加しつつある。



【このままでは営農を続けられなくなる、田園風景が荒廃する恐れ】

令和3年度の取り組み

「最適土地利用対策事業」（農林水産省）

地域ぐるみの話し合いを通じて、将来の農地の利用計画を作成し、
荒廃農地の有効活用や低コスト管理に取り組む

地域の話し合いをするにあたって、
→「農地のことだけでなく、地区全体について話し合いたい。」
（自治振興会、区長会、有志住民ほか）



しかし、1回目の検討会では・・・
地区の課題ばかりが先行し、建設的な意見が出ず・・・
委員の中から、
地域におもしろい人がいる。
移住者の人もメンバーに加えてはどうか？



2回目の検討会では・・・
外からの目線で「こんなことができるのでは？」「自分はこんなことをやってみたい」
という提案から、前向きな意見交換に。

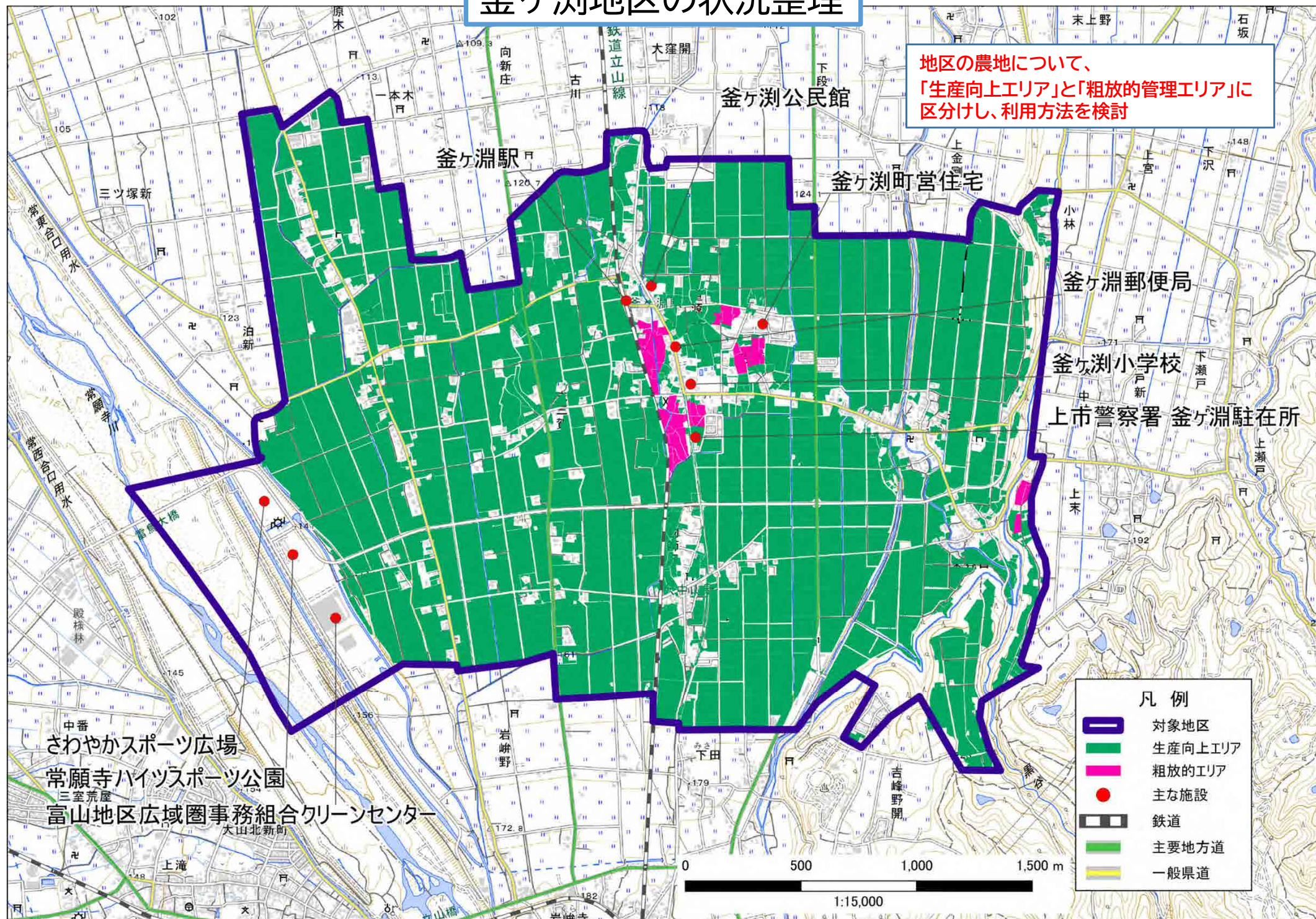


- 耕作利用を推進する農地「生産向上エリア」と
- 粗放的利用により維持管理を図る農地「粗放的管理エリア」に区分け

- 粗放的管理の方法について、実施内容と実行者を決定
（放牧管理・蜜源作物・ハーブ栽培）

釜ヶ渚地区の状況整理

地区の農地について、
「生産向上エリア」と「粗放的管理エリア」に
分けし、利用方法を検討



第1回最適土地利用計画検討会

釜ヶ淵地区の現況の整理

項目	土地・施設	生業・活動等
強み・魅力	環境が良い - 立山が美しい - 景色が良い（背景） - 畑が多い - 観光地に近い - 環境は良い 水がきれい - 水が豊富（用水） - 水が多くてきれい！ 気候 - 雪国 - 雪多い	米農家 米農家が多い 他のものがやれるのでは...
問題点・課題	空き家問題 - 空き家が点在 - 空き地が点在 - 空き家が増えた - 空き家対策と言っても、具体的な方策はない（取り壊しがOK） - 空き家多い 遊休農地 - 遊休田多い 杉の木が多過ぎる - 全国的にはあるが杉の木が多すぎる！山菜が採れない。 店がない - だんだん商店がなくなった - 特別なものが少ない - 商店がない - 店がない 河川・道路の整備 - コンクリートの川が多い！ - 道路幅が狭い	少子高齢化の進行 - 少子化 - 年寄りが多くなかなか難しい - まわりに独身者が多い - 少子高齢化 - 農業を継ぐ人がいなくなる（老人が多い） リーダーシップ・専門知識 - リーダーシップをとる人がいないかな？ - 専門知識が必要となるのでは？ 観光の課題 - 観光客がたくさん来るけど、通り過ぎる - 観光客が通り抜け 働き場所の不足 - 収入（安定）面に問題がある（若者増に向けて） - 就職先がない - 勤め人が多く、農業従事者が少ない クマの出没 - 秋になると、熊が出没する

地域課題はたくさん挙げられれたが、強みや魅力はあまり出ず、建設的な話し合いにならず

第2回最適土地利用計画検討会 取組方針の検討

基本施策	誰が（担い手）	何をする（事業）	必要なこと（条件整備）
既存農地の利用		白雪農園 特産品づくり 米以外の作物を作れば 特産品づくり 小麦粉 将来的に特産物となるものの栽培 →exp.ブルーベリー、山菜、自然薯、近隣にないもの 米以外、ブルーベリー加工など付加価値つけないと 販売方法 口コミ いいものつくれば人が来る（いちご買いに来ている） 直売 桃、りんご、ぶどう、里芋（おいしい） 朝市（特産品の販売） 日曜朝市 直売所をつくれば農産物◎ 6次産業化（泊まることを含める）	販売場所 県道沿いが良い（ふるさと交流館） 職業として成立 生活が成り立つことが必要 →趣味では成り立たない
遊休農地の活用	若い担い手 若い人	白雪牧場 市民農園 レンタル畑・市民農園（町外の需要はある） オーナー制 市民農園は立地が重要 低コスト事業 養蜂 家畜・畜産 木を売る（モミの木） 有機農業 耕作放棄地は有機米にいい 有機農業 立山オーガニック エコジ構想	農地取得の仕組み検討 若い人が趣味で農業をやるため、農地取得をしやすくして 都市農業法の改正 農地取得をしやすい仕組み 地権者との交渉 既存農地・遊休農地・空き家の活用 技術の指導・継承 ノウハウの蓄積が必要 →技術と時間、人の技等が必要 ・地元の人がゆずって 地元農家の人が指導 協力 仲間作りが“要”と思う個人ではなかなか 組み合わせマッチングが重要（コーディネータの存在）
空き家の活用	移住者の積極的な活用 地元の住民は保守的（世間の目）でありなかなか難しい面がある ↓ 実際起業されている坂口（白雪農園）岩崎（果巣）の経験を活かし、幅を広げる	白雪ゲストハウス 具体的な活用方法 空き家 ↓ 市内など近場の人週末の家、畑仕事 空き家再生（試農用・共同作業場） 民泊 いい空き家は移住用に使って	
観光との連携		店舗間での連携 果巣「お店めぐり」 ↓ 近くの店をまわる 人を集める、つなぐ イベントの開催 立山農芸祭 観光者向けの販売 県道沿いは（年間100万人の人が来るので売れる）	
その他		移住促進 移住用に空き家の住宅を活用 高齢者の生活支援 移動販売等による買い物支援	行政との連携 自治体（役場）や地元振興会と連携（宣伝）

挙げられた取組案のうち、低コスト農地管理の部分を事業で実施する

- ・放牧管理
- ・養蜂（蜜源作物）
- ・ハーブ栽培

令和4年度の取り組み

「農村型地域運営組織モデル形成支援事業」（農林水産省）

地域の多様な関係者が参画し、「農用地保全」「地域資源の活用」「生活支援」などの持続的な農村地域づくりに取り組む

昨年度、地域の様々なことについて話し合ったことをもとに、地域の維持・活性化のために色々な課題について取り組みを実施したい。

昨年度のメンバー（自治振興会・区長会・移住者ほか）に、
地元青年グループ・農業委員・農業者・社会福祉協議会・公民館・住民有志などを加え、
「釜ヶ渚みらい協議会」を設立（令和4年5月）



地区住民へ、協議会の設立と取り組み主旨についてご案内
地域の将来ビジョンづくりに向けて、事前アンケートを募集

- ① 地域の課題や問題点だと思うこと
- ② どのような地域になったらいいか（将来像）
- ③ 将来に向けてどんなことをやったらいいか（アイデア）



地域の将来ビジョンを考える検討会を開催
（第1回：9月、第2回：11月、第3回：2月）
メンバーの意見共有と提案活動の具体化を進めた。



○「農地保全」「地域資源開発」「生活支援」の各部会において取り組む
実証事業の内容と実行役を決定

令和5年度の取り組み

① 拠点整備（地域の交流空間&カフェ & イベント） 実施者：地元青年団グループ

旧農協倉庫を活用し、地域住民の交流空間として地域の方々の手で拠点づくりを行う。
→地元業者に加え、ひょうたんアート作家、ロウソク作家、住民協力による内装づくり



◆高齢者から子供まで、住民がいつでも立ち寄れる交流空間に
高齢者向け体操教室や子どもの体験教室、地域外の人を呼び込むイベントなども実施する。

◆農産物等の直売所の運営

釜ヶ淵農園（コミュニティガーデン）で収穫した野菜を直売するほか、釜ヶ淵の農家の方が自分で作った野菜などを自由に直売できる場所とする。（軽トラ市や収穫祭など開催）

◆釜カフェの運営（釜ノ蔵）

地元の食材を使ったメニューを提供するカフェを運営する。



令和5年度の取り組み

② 釜ヶ淵農園（コミュニティガーデン）

実施者：地元青年団グループ、農園参加者

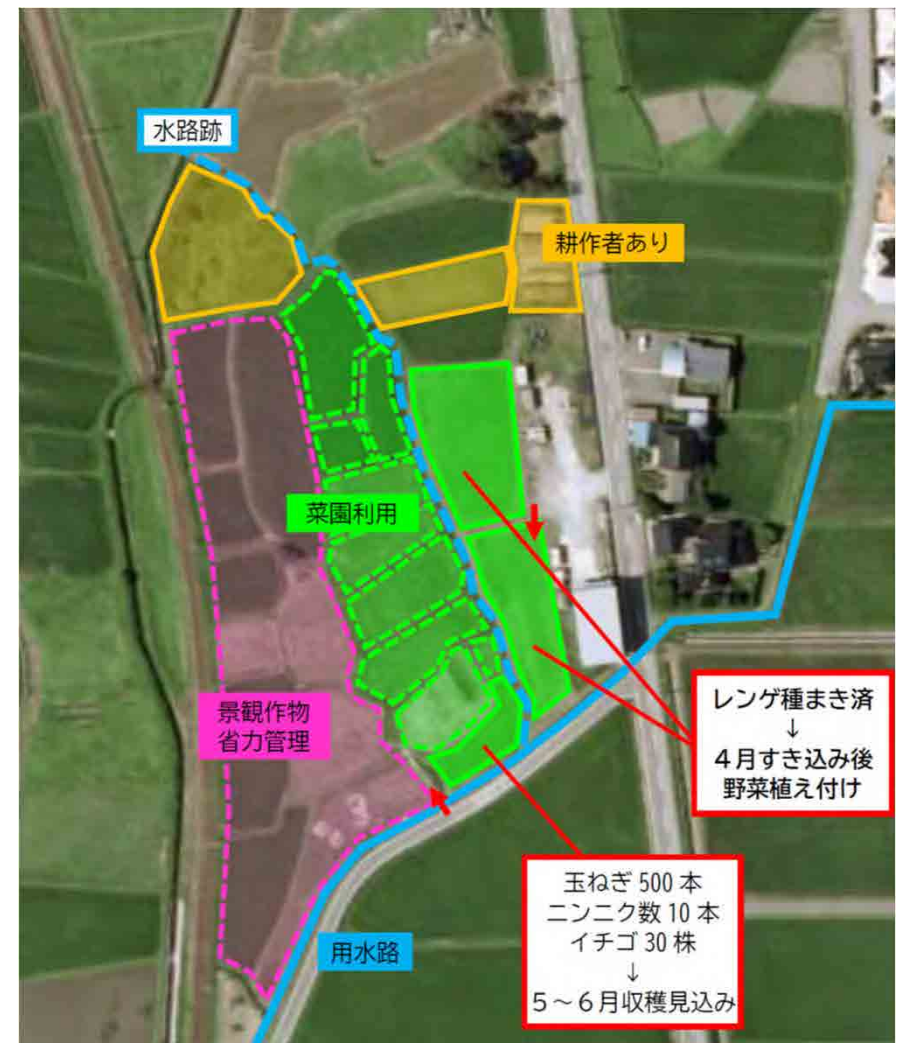
遊休農地をコミュニティガーデンとして活用し、一緒に栽培活動をしたい方を募集して、詳しい方に栽培を教わり、交流しながら、みんなで楽しく農作業を行う場とする。



◆住民が交流を深めながら農作業できる場所をつくる
地元農家に教わりながら色々な作物を栽培する。
子どもが参加する収穫体験なども開催する。

◆地場で生産した野菜等を地域の方々に提供する
収穫した野菜を拠点施設で販売(軽トラ市)したり、
釜カフェのメニューの食材に活用する。

◆電車から見る景観を良くしたい
電車沿いに景観植物を栽培して地域の魅力を高める。
住民参加で行い、省力的に管理する。



令和5年度の取り組み

③ 自然栽培米の試験田、市民農園&市民田んぼ 実施者：白雪農園

耕作放棄地の活用方法として、自然栽培米の栽培実証を行う。
地方鉄道の駅を活用し、超駅近の市民農園を開設し、地域外から農業体験者を呼び込む。



◆農薬・肥料に頼らない自然栽培で、地域の特産づくり・産地化へ
自然栽培の指導を受けながら、栽培環境づくりと実践者の育成を行い、
地域の所得向上とともに、自然栽培に取り組みたい人を地域内外から呼び込む。

◆駅に近い立地を活かし、地域外の農業体験者を呼び込む市民農園をつくる
駅から降りてすぐに通える市民農園として環境を整える。
地域外の方が地元農家に教わりながら栽培できる。
農家民泊も活用し、農作業をしながら地域に滞在できる。



令和5年度取り組み

④ 農家民泊の実証

実施者：地域おこし協力隊員

地域おこし協力隊員が居住している地域の元空き家を農家民泊として環境づくりを行い、地域外の方が滞在し、地域の方との交流できる集いの場とする。



◆地域の景観を活かし、空き家を農家民泊に活用

地域の景観が楽しめる空き家を活用し、地域おこし協力隊員が農家民泊に取り組む。

◆地域内外の方が集う交流の場に

地域外の方が滞在しながら、地域の方とも交流できる場所にする。
市民農園や釜ヶ淵農園とも連携して、農業体験を楽しみながら滞在できる。



事業イメージ図

<釜ヶ淵農園>

- 釜ヶ淵菜園整備
- 粗放管理事業の試行
- 新たな地域資源作物の栽培

<活動拠点>

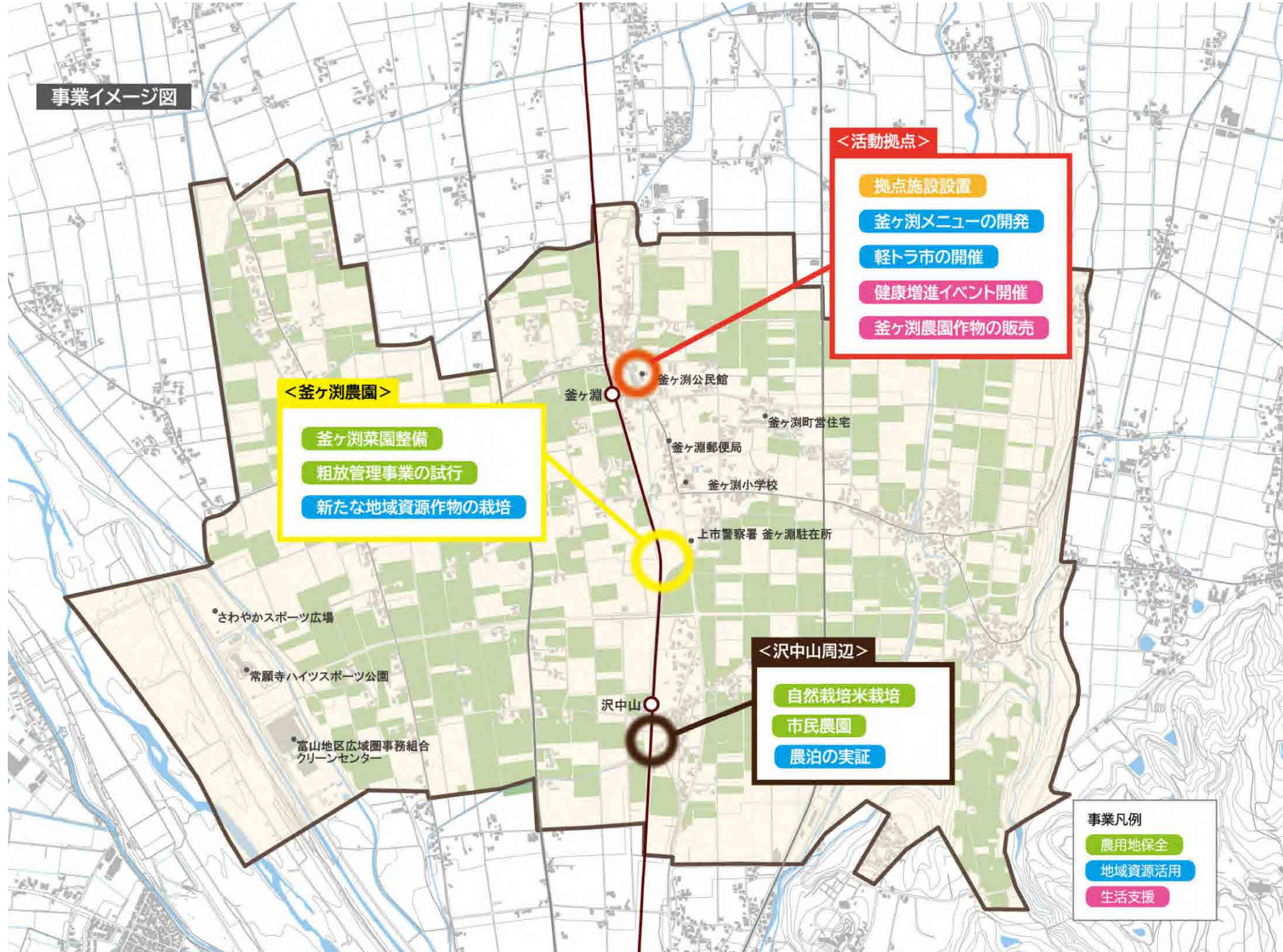
- 拠点施設設置
- 釜ヶ淵メニューの開発
- 軽トラ市の開催
- 健康増進イベント開催
- 釜ヶ淵農園作物の販売

<沢中山周辺>

- 自然栽培米栽培
- 市民農園
- 農泊の実証

事業凡例

- 農用地保全
- 地域資源活用
- 生活支援



地域計画の策定に向けて

これまでに実施したこと

- 耕作利用を推進する農地「生産向上エリア」と
- 粗放的利用により維持管理を図る農地「粗放的管理エリア」に区分け
- 粗放的管理により農地の管理に取り組む
(放牧管理・蜜源作物・ハーブ栽培)
- 農地保全部会等において遊休農地を活用した実証事業に取り組む
(交流しながら農作業を楽しむコミュニティガーデン) (市民農園として利用)
(自然栽培米の試験栽培：付加価値の高い栽培方法に挑戦)



これからも、釜ヶ渚みらい協議会での話し合いを継続

- 将来的な地域の農地利用のあり方について地域全体で話し合う
- 地域全体で遊休農地（狭小・不整形農地）の利用について取り組む
- 幅広く農業にふれる場や学びの場をつくり、裾野を広げながら、新たな農業の担い手を育成する
- 園芸作物での新規青年就農者あり（ネギ：1 ha）
新たに農業に取り組みたい方の受け皿となれる地域づくりを進める

地域全体で「人・農地プラン」から「地域計画」の策定へ